

専修以外の基礎科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
基礎海外研修Ⅰ	基礎海外研修Ⅰ	3	文学部学務教育室長	通年			1
基礎海外研修Ⅱ	基礎海外研修Ⅱ	6	文学部学務教育室長	通年			2
人文統計学	統計学の基礎	2	木村 邦博	3	水	2	3
人文統計学	推測統計と多変量解析 の基礎	2	木村 邦博	4	水	2	4
人文情報処理	コンピュータを活用した データ処理と情報発信	2	湊 信吾	3	金	2	5
人文情報処理	コンピュータを活用した データ処理と情報発信	2	湊 信吾	4	金	2	6
英語演習	時事英語の読解演習	2	中西 弘	3	木	2	7
英語演習	学術英語の読解演習	2	中西 弘	4	木	2	8
高等英文解釈法	英文解釈の技法	2	鈴木 亨	3	金	2	9
高等英文解釈法	英文解釈の技法	2	鈴木 亨	4	金	2	10
英語論文作成法	Academic Writing I	2	マックス・フィリップス	3	水	2	11
英語論文作成法	Academic Writing II	2	マックス・フィリップス	4	水	2	12
ギリシャ語	ホメロス『イリアス』演習	2	尾園 絢一	3	月	4	13
ギリシャ語	古典ギリシャ語文法初 級	2	尾園 絢一	3	金	3	14
ギリシャ語	ホメロス『イリアス』演習	2	尾園 絢一	4	月	4	15
ギリシャ語	古典ギリシア語文法初 級	2	尾園 絢一	4	金	3	16
ラテン語	ラテン語原典講読	2	荻原 理	3	火	3	17

専修以外の基礎科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
ラテン語	ラテン語文法入門・基礎文法	2	宮崎 正美	3	金	3	18
ラテン語	ラテン語原典講読	2	荻原 理	4	火	3	19
ラテン語	ラテン語文法および読解	2	宮崎 正美	4	金	3	20
サンスクリット語	サンスクリット語基礎演習(1)	2	尾園 絢一	3	木	3	21
サンスクリット語	サンスクリット語基礎演習(2)	2	尾園 絢一	4	木	3	22
中国語	中級会話	2	馬 曉地	3	月	3	23
中国語	中級会話	2	馬 曉地	4	月	3	24
朝鮮語	韓国語入門	2	権 来順	3	水	2	25
朝鮮語	韓国語初級	2	権 来順	4	水	2	26
イタリア語	イタリア語上級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	水	4	27
イタリア語	イタリア語初級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	木	3	28
イタリア語	イタリア語中級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	木	4	29
イタリア語	イタリア語上級(後期)	2	FONGARO ENRICO	4	水	4	30
イタリア語	イタリア語初級(後期)	2	FONGARO ENRICO	4	木	3	31
イタリア語	イタリア語中級(後期)	2	FONGARO ENRICO	4	木	4	32
専門中国語	中国語作文	2	馬 曉地	3	金	4	33
専門中国語	中国語作文	2	馬 曉地	4	金	4	34

専修以外の基礎科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
専門ドイツ語	ドイツ語読解力の養成 とドイツ語基礎の徹底	2	松崎 裕人	4	月	2	35
専門フランス語	フランス語を話す・フ ランス語を聞く	2	阿部 宏	3	水	3	36
専門フランス語	Expression française orale et écrite	2	MEVEL YANN ERIC	4	水	5	37
漢文講読	漢文訓読入門(文法 編)	2	菅原 尚樹	3	金	3	38
漢文講読	漢文訓読入門(講読 編)	2	菅原 尚樹	4	金	3	39

科目名：基礎海外研修 I / Overseas Study (Introductory Seminar) I

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年, **単位数：**3

担当教員：文学部学務教育室長（教授）

講義コード：LB98832, **科目ナンバリング：**LHM-OAR903J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

基礎海外研修 I

2. Course Title (授業題目)：

Overseas Study (Introductory Seminar) I

3. 授業の目的と概要：

この授業は、3 か月以上の海外留学を行うものを対象とし、その海外留学経験を深化させることを目的とする。

海外留学中に月一回程度のリポートを提出し（電子メール）、帰国後には留学で学んだことを整理し、総合的に振り返るリポートを提出してもらう。また面接を実施し、留学で得た知見を発表してもらう。

4. 学習の到達目標：

海外留学で得た経験と知識をきちんと表現できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. リポート作成とそれに基づいた指導 1
2. リポート作成とそれに基づいた指導 2
3. リポート作成とそれに基づいた指導 3
4. リポート作成とそれに基づいた指導 4
5. リポート作成とそれに基づいた指導 5
6. リポート作成とそれに基づいた指導 6
7. リポート作成とそれに基づいた指導 7
8. リポート作成とそれに基づいた指導 8
9. リポート作成とそれに基づいた指導 9
10. リポート作成とそれに基づいた指導 10
11. リポート作成とそれに基づいた指導 11
12. リポート作成とそれに基づいた指導 12
13. リポート作成とそれに基づいた指導 13
14. 面接による習熟度確認とそれに基づく指導 1
15. 面接による習熟度確認とそれに基づく指導 2

6. 成績評価方法：

リポート[50%]・面接試験[50%]

7. 教科書および参考書：

なし。

8. 授業時間外学習：

留学先の大学で学んだことと共に、日々の暮らしを通じ、日本との文化的な違い・驚きを、きちんと記録しておくこと。

Students will keep a record of both the things they learn at the foreign university and the cultural differences and surprising things they experience in their daily lives.

9. その他：なしこの授業は3ヶ月以上の海外留学を行って帰国したものを対象とする。

海外留学に関連した授業としては「基礎海外研修 I」, 「基礎海外研修 II」, 「発展海外研修 I」, 「発展海外研修 II」があるが、合計6単位を上限とする。

This course is aimed at students who have returned from 3 months or more of student exchange. The courses connected to overseas study are "Overseas Study (Introductory Lecture) I", "Overseas Study (Introductory Lecture) II", "Overseas Study (Advanced Seminar) I" and "Overseas Study (Advanced Seminar) II".

科目名：基礎海外研修Ⅱ／ Overseas Study (Introductory Seminar) II

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年， **単位数：**6

担当教員：文学部学務教育室長（教授）

講義コード：LB98833， **科目ナンバリング：**LHM-OAR904J， **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

基礎海外研修Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

Overseas Study (Introductory Seminar) II

3. 授業の目的と概要：

この授業は、6か月以上の海外留学を行うものを対象とし、その海外留学経験を深化させることを目的とする。

海外留学中に月一回程度のレポートを提出し（電子メール）、帰国後には留学で学んだことを整理し、総合的に振り返るレポートを提出してもらう。また面接を実施し、留学で得た知見を発表してもらう。

4. 学習の到達目標：

海外留学で得た経験と知識をきちんと表現できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. レポート作成とそれに基づいた指導 1
2. レポート作成とそれに基づいた指導 2
3. レポート作成とそれに基づいた指導 3
4. レポート作成とそれに基づいた指導 4
5. レポート作成とそれに基づいた指導 5
6. レポート作成とそれに基づいた指導 6
7. レポート作成とそれに基づいた指導 7
8. レポート作成とそれに基づいた指導 8
9. レポート作成とそれに基づいた指導 9
10. レポート作成とそれに基づいた指導 10
11. レポート作成とそれに基づいた指導 11
12. レポート作成とそれに基づいた指導 12
13. レポート作成とそれに基づいた指導 13
14. 面接による習熟度確認とそれに基づく指導 1
15. 面接による習熟度確認とそれに基づく指導 2

6. 成績評価方法：

レポート[50%]・面接試験[50%]

7. 教科書および参考書：

なし。

None.

8. 授業時間外学習：

留学先の大学で学んだことと共に、日々の暮らしを通じ、日本との文化的な違い・驚きを、きちんと記録しておくこと。

Students will keep a record of both the things they learn at the foreign university and the cultural differences and surprising things they experience in their daily lives.

9. その他：なしこの授業は6ヶ月以上の海外留学を行って帰国したものを対象とする。

海外留学に関連した授業としては「基礎海外研修Ⅰ」、「基礎海外研修Ⅱ」、「発展海外研修Ⅰ」、「発展海外研修Ⅱ」があるが、合計6単位を上限とする。

This course is aimed at students who have returned from 6 months or more of student exchange. The courses connected to overseas study are "Overseas Study (Introductory Lecture) I", "Overseas Study (Introductory Lecture) II", "Overseas Study (Advanced Seminar) I" and "Overseas Study (Advanced Seminar) II".

科目名：人文統計学／ Statistics

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：木村 邦博（教授）

講義コード：LB33205, 科目ナンバリング：LHM-PRI201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

統計学の基礎

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Statistics

3. 授業の目的と概要：

統計学の基礎を学ぶ。

特に、データ収集・測定の考え方の基本を理解し、代表値や変動の測度の算出、探索的データ解析、クロス集計表など、記述統計学の手法を身につける。

4. 学習の到達目標：

官庁統計や簡単な調査報告・論文を読めるようになるための基礎的な統計学について学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. データと測定 (1)
2. データと測定 (2)
3. 度数分布と比率 (1)
4. 度数分布と比率 (2)
5. 代表値と変動 (1)
6. 代表値と変動 (2)
7. グラフによるデータの表現 (1)
8. グラフによるデータの表現 (2)
9. クロス集計表 (1)
10. クロス集計表 (2)
11. 関連の測度 (1)
12. 関連の測度 (2)
13. 3 変数間の関係を考える（因果関係、相関関係、疑似相関） (1)
14. 3 変数間の関係を考える（因果関係、相関関係、疑似相関） (2)
15. まとめ

6. 成績評価方法：

レポート（10 回）による。

7. 教科書および参考書：

教科書：ボーンシュテット&ノーキ（海野他訳）『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』ハーベスト社

8. 授業時間外学習：

教科書と補足資料（ISTU で配付）で予習・復習をする。

教科書の各章末にある「一般的問題」のうち指定されたものについて、レポートを作成する。

9. その他：なし (1) 人文統計学（推測統計と多変量解析の基礎）とあわせて受講することが望ましい。

(2) 社会調査士資格認定標準科目 C に対応。

科目名：人文統計学／ Statistics

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：木村 邦博（教授）

講義コード：LB43204, 科目ナンバリング：LHM-PRI201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

推測統計と多変量解析の基礎

2. Course Title (授業題目)：

Statistical Inference and Multivariate Analysis

3. 授業の目的と概要：

より高度な統計学の基礎を学ぶ。

特に、確率分布と統計的推測の考え方や、平均・比率の差の検定・推定、分散分析、相関分析、回帰分析、パス解析などの手法について理解する。

4. 学習の到達目標：

「統計学の基礎」をふまえて、より高度な統計的方法を理解するための基本事項について学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 統計的推測と仮説検定(1)：確率論の基礎
2. 統計的推測と仮説検定(2)：統計的推定
3. 統計的推測と仮説検定(3)：統計的検定の理論
4. 2 平均値の差の検定(1)
5. 2 平均値の差の検定(2)
6. 複数平均値の差の検定(1)
7. 複数平均値の差の検定(2)
8. 2 変数の関連の分析：クロス集計表における関連の測度
9. 2 変数の関連の分析：相関係数
10. 2 変数の関連の分析：偏相関、因果推論、生態学的誤謬
11. 回帰分析の基礎(1)
12. 回帰分析の基礎(2)
13. 重回帰分析(1)
14. 重回帰分析(2)
15. 因果モデルとパス分析の基礎

6. 成績評価方法：

レポート（10 回）による。

7. 教科書および参考書：

教科書：ボンシュテット&ノーキ（海野他訳）『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』ハーベスト社

8. 授業時間外学習：

教科書と補足資料（ISTU で配付）で予習・復習をする。

教科書の各章末にある「一般的問題」のうち指定されたものについて、レポートを作成する。

9. その他：なし(1) 人文統計学（統計学の基礎）とあわせて受講することが望ましい。

(2) 社会調査士資格認定標準科目 D に対応。

科目名：人文情報処理／ Information Processing for the Humanities

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：湊 信吾（非常勤講師）

講義コード：LB35208, **科目ナンバリング：**LHM-HUI201J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

コンピュータを活用したデータ処理と情報発信

2. Course Title (授業題目)：

Data processing and information providing with a computer

3. 授業の目的と概要：

以下の予定で講義および実習を行う。内容を変更する場合には授業中に連絡する。

- ・授業では前半、実習を交えながら解説を行う。後半、課題に取り組んでもらう。
- ・Excel では表を使用したデータ処理について練習する。
- ・R を使用したデータ解析の方法、グラフの表現について練習する。
- ・インターネットで文書を公開するには Web ページを作成する。Web ページを作るためのプログラミング言語として HTML、CSS および JavaScript の基本について学ぶ。
- ・SQL を使用したデータベースのプログラミングについて練習する。
- ・プログラミング言語 Ruby または Python を用いてプログラミングの練習を行う。

4. 学習の到達目標：

- ・Excel を使用した実習により手軽にデータ分析を行うことができるようになる。
- ・R を使用して基本的なデータ解析やグラフの作成ができるようになる。
- ・PowerPoint のスライド作成を通して発表用の資料を簡単に作るようになる。
- ・Web ページを作ることで情報を外部に公開する方法について理解を深める。
- ・SQL のプログラミングを使用し汎用的にデータベースを操作できるようになる。
- ・プログラミング言語 Ruby または Python を使用しプログラミングの楽しさを体験してもらう。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション として授業の概要、評価の方法、テキストの閲覧方法、欠席時の対応について説明
 2. Excel (表計算の基本)
 3. Excel (グラフの作成)
 4. Excel (テキストファイルの扱い方)
 5. Excel (組み込み関数の応用)
 6. Excel (VBA プログラミング)
 7. R を利用したデータ解析とグラフの作成
 8. PowerPoint を使用したスライドの作成
 9. Access で SQL を使用したデータベースの操作
 - 10～13. HTML、CSS、JavaScript を使用した Web ページの作成 (その 1～その 4)
 - 14、15. プログラミング言語 Ruby または Python を使用したプログラミング (基本とライブラリの利用)
- 使用する言語については 1 のオリエンテーション時に説明する。

6. 成績評価方法：

毎回、授業時間内にレポートを印刷し提出してもらう。レポートの内容および提出日時により評価を決定する。

7. 教科書および参考書：

毎週、週末にインターネット経由でテキストを公開する。参考書についてはテキストおよび授業で紹介する。

8. 授業時間外学習：

テキストはインターネット上で公開するので予習や復習に役立ててもらいたい。

9. その他：なしオリエンテーションの時に連絡先やテキスト公開サイトの URL を教える。

教室の都合で履修人数を制限することがある。第 4 セメスターにも同内容の授業を開講するので、いずれかを履修すればよい。

科目名：人文情報処理／ Information Processing for the Humanities

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：湊 信吾（非常勤講師）

講義コード：LB45207, **科目ナンバリング：**LHM-HUI201J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

コンピュータを活用したデータ処理と情報発信

2. Course Title (授業題目)：

Data processing and information providing with a computer

3. 授業の目的と概要：

以下の予定で講義および実習を行う。内容を変更する場合には授業中に連絡する。

- ・授業では前半、実習を交えながら解説を行う。後半、課題に取り組んでもらう。
- ・Excel では表を使用したデータ処理について練習する。
- ・R を使用したデータ解析の方法、グラフの表現について練習する。
- ・インターネットで文書を公開するには Web ページを作成する。Web ページを作るためのプログラミング言語として HTML、CSS および JavaScript の基本について学ぶ。
- ・SQL を使用したデータベースのプログラミングについて練習する。
- ・プログラミング言語 Ruby または Python を用いてプログラミングの練習を行う。

4. 学習の到達目標：

- ・Excel を使用した実習により手軽にデータ分析を行うことができるようになる。
- ・R を使用して基本的なデータ解析やグラフの作成ができるようになる。
- ・PowerPoint のスライド作成を通して発表用の資料を簡単に作るようになる。
- ・Web ページを作ることで情報を外部に公開する方法について理解を深める。
- ・SQL のプログラミングを使用し汎用的にデータベースを操作できるようになる。
- ・プログラミング言語 Ruby または Python を使用しプログラミングの楽しさを体験してもらう。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション として授業の概要、評価の方法、テキストの閲覧方法、欠席時の対応について説明
 2. Excel (表計算の基本)
 3. Excel (グラフの作成)
 4. Excel (テキストファイルの扱い方)
 5. Excel (組み込み関数の応用)
 6. Excel (VBA プログラミング)
 7. R を利用したデータ解析とグラフの作成
 8. PowerPoint を使用したスライドの作成
 9. Access で SQL を使用したデータベースの操作
 - 10～13. HTML、CSS、JavaScript を使用した Web ページの作成 (その 1～その 4)
 - 14、15. プログラミング言語 Ruby または Python を使用したプログラミング (基本とライブラリの利用)
- 使用する言語については 1 のオリエンテーション時に説明する。

6. 成績評価方法：

毎回、授業時間内にレポートを印刷し提出してもらう。レポートの内容および提出日時により評価を決定する。

7. 教科書および参考書：

毎週、週末にインターネット経由でテキストを公開する。参考書についてはテキストおよび授業で紹介する。

8. 授業時間外学習：

テキストはインターネット上で公開するので予習や復習に役立ててもらいたい。

9. その他：なしオリエンテーションの時に連絡先やテキスト公開サイトの URL を教える。

教室の都合で履修人数を制限することがある。第 3 セメスターにも同内容の授業を開講するので、いずれかを履修すればよい。

科目名：英語演習／ Seminar in Practical English

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：中西 弘（非常勤講師）

講義コード：LB34203, 科目ナンバリング：LHM-ENG201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

時事英語の読解演習

2. Course Title (授業題目)：

Reading Current English

3. 授業の目的と概要：

主に時事英語の精読を行い、内容を正確につかむ訓練をする。また、論理的・批判的に文章を読む習慣を身につける。さらに、その内容に関して、意見を述べ (Paragraph Writing)、言い換え (Paraphrasing)、要約する (Summarizing) ライティング活動を行う。

4. 学習の到達目標：

- (1) 時事英語を正確に読む力を身につける。
- (2) 時事英語を読んで、意見を述べたり、内容をまとめたりする力を身につける

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 時事英語読解+Paragraph Writing(1)
- 2 時事英語読解+Paragraph Writing(2)
- 3 時事英語読解+Paragraph Writing(3)
- 4 時事英語読解+Paragraph Writing(4)
- 5 時事英語読解+Paragraph Writing(5)
- 6 時事英語読解+Paragraph Writing(6)
- 7 授業のまとめと中間試験
- 8 時事英語読解+Paraphrasing(1)
- 9 時事英語読解+Paraphrasing(2)
- 10 時事英語読解+Paraphrasing(3)
- 11 時事英語読解+Summarizing(1)
- 12 時事英語読解+Summarizing(2)
- 13 時事英語読解+Summarizing(3)
- 14 時事英語読解+Summarizing(4)
- 15 授業のまとめと期末試験

6. 成績評価方法：

授業への取り組み姿勢(40%)、中間試験(30%)、期末試験(30%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習段階で教材に目をとおしておくこと

9. その他：なし

科目名：英語演習／ Seminar in Practical English

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：中西 弘（非常勤講師）

講義コード：LB44202, 科目ナンバリング：LHM-ENG201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

学術英語の読解演習

2. Course Title (授業題目)：

Reading Academic English

3. 授業の目的と概要：

主に心理言語学（言語習得・言語理解の心的メカニズム）を扱った英語論文の精読を行い、内容を正確につかむ訓練をする。さらに、その内容に関して、意見を述べ（Paragraph Writing）、言い換え（Paraphrasing）、要約する（Summarizing）ライティング活動を行う。

4. 学習の到達目標：

- (1) 学術的な英語の文章を正確に読む力を身につける。
- (2) 学術的な英語の文章を読んで、意見を述べたり、内容をまとめたりする力を身につける

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 こどもの言語獲得にまつわる文献 +Paragraph Writing(1)
- 2 こどもの言語獲得にまつわる文献 +Paragraph Writing(2)
- 3 こどもの言語獲得にまつわる文献 +Paragraph Writing(3)
- 4 こどもの言語獲得にまつわる文献 +Paragraph Writing(4)
- 5 こどもの言語獲得にまつわる文献 +Paragraph Writing(5)
- 6 授業のまとめと中間試験
- 7 第二言語習得にまつわる文献 +Paraphrasing(1)
- 8 第二言語習得にまつわる文献 +Paraphrasing(2)
- 9 第二言語習得にまつわる文献 +Paraphrasing(3)
- 10 第二言語習得にまつわる文献 +Paraphrasing(4)
- 11 第二言語習得にまつわる文献 +Summarizing(1)
- 12 第二言語習得にまつわる文献 +Summarizing(2)
- 13 第二言語習得にまつわる文献 +Summarizing(3)
- 14 第二言語習得にまつわる文献 +Summarizing(4)
- 15 授業のまとめと期末試験

6. 成績評価方法：

授業への取り組み姿勢(40%)、中間試験(30%)、期末試験(30%)

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習段階で教材に目をとおしておくこと

9. その他：なし

科目名：高等英文解釈法／ Advanced English for Intensive Reading

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：鈴木 亨（非常勤講師）

講義コード：LB35209, 科目ナンバリング：LHM-ENG202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

英文解釈の技法

2. Course Title (授業題目)：

Reading Skills in English

3. 授業の目的と概要：

様々なスタイルの英文テキスト（小説、エッセイ、評論、映画脚本、歌詞、雑誌記事など）を素材に、実践的な英語の読解力を養成する。文及びパラグラフにおける構造的な特徴に注意して、正確な読解に取り組むことが求められる。

4. 学習の到達目標：

文章の構成における論理的かつ構造的な特徴をきちんと把握することにより、様々な英文スタイルの特性に応じて、必要で正確な読解ができるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. Reading Literary Fiction
3. Judy Moody Gets Famous
4. Akeelah and the Bee
5. How Pleasure Works (1)
6. How Pleasure Works (2)
7. How Pleasure Works (3)
8. Looking for Rachel Wallace (1)
9. Looking for Rachel Wallace (2)
10. What I Wish I Knew When I Was 20
11. Song Lyrics
12. Reclaiming Conversation (1)
13. Reclaiming Conversation (2)
14. Reclaiming Conversation (3)
15. 学期末試験と解説

6. 成績評価方法：

学期末試験および学期中に提出してもらう課題（学期中に 3 回、内容は適宜指示する）に基づいて、授業内容の理解度を総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

使用するテキストはあらかじめ配布する。

8. 授業時間外学習：

テキストを読んで、その内容についての質疑応答や議論に備える。

9. その他：なし辞書を持参すること。

科目名：高等英文解釈法／ Advanced English for Intensive Reading

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：鈴木 亨（非常勤講師）

講義コード：LB45208, 科目ナンバリング：LHM-ENG202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

英文解釈の技法

2. Course Title (授業題目)：

Reading Skills in English

3. 授業の目的と概要：

様々なスタイルの英文テキスト（小説、エッセイ、評論、映画脚本、歌詞、雑誌記事など）を素材に、実践的な英語の読解力を養成する。文及びパラグラフにおける構造的な特徴に注意して、正確な読解に取り組むことが求められる。

4. 学習の到達目標：

文章の構成における論理的かつ構造的な特徴をきちんと把握することにより、様々な英文スタイルの特性に応じて、必要で正確な読解ができるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. Thinking about Thinking
3. Never Let Me Go (1)
4. Never Let Me Go (2)
5. Before Sunrise (1)
6. Before Sunrise (2)
7. 11/22/63 (1)
8. 11/22/63 (2)
9. The Fall of Language in the Age of English (1)
10. The Fall of Language in the Age of English (2)
11. Song Lyrics
12. What Money Can't Buy (1)
13. What Money Can't Buy (2)
14. What Money Can't Buy (3)
15. 学期末試験と解説

6. 成績評価方法：

学期末試験および学期中に提出してもらう課題（学期中に3回、内容は適宜指示する）に基づいて、授業内容の理解度を総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

使用するテキストはあらかじめ配布する。

8. 授業時間外学習：

テキストを読んで、その内容についての質疑応答や議論に備える。

9. その他：なし辞書を持参すること。

科目名：英語論文作成法／ Creative Writing

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：マックス・フィリップス（非常勤講師）

講義コード：LB33206, **科目ナンバリング：**LHM-ENG203E, **使用言語：**英語

1. 授業題目：

Academic Writing I

2. Course Title (授業題目)：

Academic Writing I

3. 授業の目的と概要：

This course is an introduction to the academic writing process. Students will learn: a) correct format for writing essays, b) organization for different essay types, c) strategies for: pre-writing, revising and proofreading, and improving the readability of their writing and d) correct sentence and paragraph structures that meets the expectations of their target audience.

4. 学習の到達目標：

Students will learn that because English writing is a process, not a product, organizational expectations must be met. The course helps students meet those expectations by teaching how to logically organize writing.

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Course Introduction; Writing Format; Plagiarism; Capitalization Rules
- 2) Essay 1 Assignment; Introduction to English Writing; Pre-writing Strategies
- 3) Basic Sentence Structure; Parallelism Rules
- 4) Writing an Outline; Basic Paragraph Structure
- 5) Basic Essay Structure
- 6) Introduction to Peer Review, Revision, and Proofreading
- 7) Workshop 1 (Rough Draft of Essay 1); Essay 2 Assignment
- 8) Introduction and Conclusion Writing; Essay 3 Assignment
- 9) Understanding Logic, Audience, Tone; Organization 1 - Compare/Contrast
- 10) Organization 2 - Chronological Order
- 11) Organization 3 - Cause/Effect
- 12) Workshop 2 (E2 one-on-one)
- 13) Effective Thesis Statement Writing; Gender Neutral Language
- 14) Workshop 3
- 15) Semester Exam

6. 成績評価方法：

Final grade to be determined by: homework, score earned on submitted essays, and workshop participation.

7. 教科書および参考書：

Course syllabus based on "Discoveries in Academic Writing," by Barbara Harris Leonhard and "Teaching Academic Writing" by Eli Hinkel.

8. 授業時間外学習：

Attendance is mandatory for all classes. You will be automatically expelled if you have more than 2 unexcused absences. No auditors permitted.

9. その他：なし

科目名：英語論文作成法／ Creative Writing

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：マックス・フィリップス（非常勤講師）

講義コード：LB43205, **科目ナンバリング：**LHM-ENG203E, **使用言語：**英語

1. 授業題目：

Academic Writing II

2. Course Title (授業題目)：

Academic Writing II

3. 授業の目的と概要：

This course is a continuation of AWI, therefore, the prerequisite for entering AWII is satisfactory completion of AWI. (Requests for a waiver must be made to the professor prior to admission to the course.) Student will study the research process and how to organize research into a cohesive, logically organized paper, with a special focus on proper format and citation of source material.

4. 学習の到達目標：

Students will do original research and write a fully documented research paper.

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Course Introduction; The Research Process
- 2) Choosing a Topic; Identifying Potential Resources
- 3) Gathering Source Material - Evaluating Sources
- 4) Note-Taking
- 5) Using the Internet for Research
- 6) Considering Organization
- 7) How to Organize Notes / Write Outline
- 8) Workshop 1 (Outline - rough draft)
- 9) Integrating Source Material; First Draft Writing
- 10) Understanding Citations; Documenting Sources In-text
- 11) Paper Format; Documenting Sources Post-text
- 12) Workshop 2 (rough draft of main body)
- 13) Writing Introduction and Conclusion for Research Papers
- 14) Writing Workshop 3 (rough draft of paper)
- 15) Abstract Writing"

6. 成績評価方法：

Final grade to be determined by: research paper, and workshop participation.

7. 教科書および参考書：

Course syllabus based, in part, on: MLA Style Manual and Guide to Scholarly Publishing 3rd Edition.

8. 授業時間外学習：

Attendance is mandatory for all classes. You will be automatically expelled from the course if you have more than 2 unexcused absences. No auditors.

9. その他：なし

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB31405, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ホメロス『イリアス』演習

2. Course Title (授業題目)：

Seminar on Homer's Iliad

3. 授業の目的と概要：

ギリシア最古の文学作品であり、インド・ヨーロッパ語比較言語学における第1級の資料でもあるホメロスの叙事詩を講読する。トロイア戦争を舞台にした『イリアス』を第17巻の途中から講読する。講読では、受講者に訳してもらい、教員が Rix, Historische Grammatik des Griechischen; Risch, Wortbildung der homerischen Sprache; Frisk, Griechisches Etymologisches Wörterbuch 等の研究書を用いて、語形一つ一つについて音韻、活用、造語法、語源、アイオリス、イオニア、アッティカ諸方言の特徴などの視点から解説する。

4. 学習の到達目標：

- ・ホメロス叙事詩を訳すことができるようになる
- ・語形を文法的・語源的に分析できるようになる
- ・ギリシア語歴史文法の基礎を習得する
- ・辞書、文法書、専門書を使いこなすようになる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション、インド・ヨーロッパ語族とギリシア語派、ホメロス叙事詩の言語、韻律と音読
2. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（1）
3. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（2）
4. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（3）
5. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（4）
6. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（5）
7. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（6）
8. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（7）
9. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（8）
10. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（9）
11. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（10）
12. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（11）
13. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（12）
14. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（13）
15. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法（14）

6. 成績評価方法：

出席（40％）、毎回の予習（30％）授業内容の理解度（30％）

7. 教科書および参考書：

テキストはオックスフォード大学古典テキストのコピーを配布する。辞書は Liddel&Scott, Greek English Lexicon (Abridged Edition) を使用すること。[A copy of text to read (Oxford Classical Texts) will be prepared by the instructor. It is recommended to use Liddel&Scott's Greek English Lexicon (Abridged Edition)]

8. 授業時間外学習：

毎回10～15行の予習が必要となる。復習を行い、授業で得た知識を使えるようになることを心がけること。[Participants are required to translate 11-15 lines of the text in advance, and expected to review knowledge learned in classes and to apply it.]

9. その他：なし参加者は古典ギリシア語初級の知識を有すること。

[Participants are expected to have basic understanding of classical Greek.]

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB35305, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

古典ギリシャ語文法初級

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Grammar of classical Greek

3. 授業の目的と概要：

古典ギリシア語を初めて学ぶ人を対象に文字の読み方から始め、練習問題を解きながら文法を習得する。歴史文法の視点に立った解説も交えながら、音韻や活用の種類などの原理の理解に重点を置いた授業を目指す。基本的には教科書に沿って進めていくが、順序を変えることもある。重要な文法事項については資料を追加して解説する。

4. 学習の到達目標：

古典ギリシア語文法の基礎を習得し、ギリシア語の簡単な文を訳せるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インド・ヨーロッパ語族とギリシア語派。アルファベット、発音、アクセント、音韻論
2. 動詞組織、現在直説法能動態の動詞変化、第1変化名詞 (PIE *-eh2-)
3. 未来直説法能動態の動詞変化、第1変化名詞 (PIE *-ih2-), 第1変化男性名詞
4. 未完了能動態の動詞変化、第2変化名詞・形容詞、前置詞
5. アオリスト直説法能動態の動詞変化、完了、過去完了直説法能動態の動詞変化、指示代名詞、強意代名詞
6. 繫辞 (copula) と後倚辞、疑問代名詞、不定代名詞
7. 現在直説法、未完了、未来の中動態の動詞変化、人称代名詞
8. アオリスト、完了、過去完了、未完了の中動態の動詞変化、再帰代名詞、相互代名詞、所有代名詞
9. 第2アオリスト、受動アオリスト (ē-アオリスト, thē-アオリスト)、第3変化名詞 (1)
10. 第3変化名詞 (2)、約音動詞 (verba contracta)
11. 黙音語幹動詞 (verba muta)、第3変化 (子音語幹) 形容詞の変化 (1)
12. 流音語幹動詞 (verba liquida)、第3変化 (子音語幹) 名詞の変化 (3)
13. 接続法能動態の動詞変化
14. 接続法中動態の動詞変化
15. 母音交替 (アブラウト)、形容詞 mégas polús の変化

6. 成績評価方法：

出席 60%、毎回の授業の課題達成度 40%

7. 教科書および参考書：

教科書 [textbook]

田中美知太郎、松平千秋『ギリシア語入門』改訂版 (岩波全書 1996 年、新装版 2012 年)

最初の授業で紹介するので、入手すること。

[Students are required to have the textbook, which will be introduced at the beginning of the course]

詳しい文法書 [recommended reference grammars]

英語: W. Goodwin: Greek G

8. 授業時間外学習：

指示された練習問題を解いておくこと。文法事項を丸暗記するのではなく、ギリシア語の仕組みを理解することが大事である。[Students are required to do assigned exercises in advance. It is important not to learn grammatical rules by heart but to understand the mechanism of Greek grammar.]

9. その他：なし後期と合わせて受講することが望ましい。

[It is recommended to take this class along with the course "Elementary Grammar of classical Greek" in winter semester.]

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB41407, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ホメロス『イリアス』演習

2. Course Title (授業題目)：

Seminar on Homer's Iliad

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、『イリアス』を第17巻を講読する。講読では受講者に訳してもらい、教員が Rix, Historische Grammatik des Griechischen; Risch, Wortbildung der homerischen Sprache; Frisk, Griechisches Etymologisches Wörterbuch 等の専門書を用いて語形一つ一つについて音韻、活用、造語法、語源、方言の特徴等視点から分析し、解説を行う。

4. 学習の到達目標：

- ・ホメロス叙事詩を訳すことができるようになる
- ・語形を文法的・語源的に分析できるようになる
- ・ギリシア語歴史文法の基礎を習得する
- ・辞書、文法書、専門書を使いこなすようになる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (1)
2. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (2)
3. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (3)
4. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (4)
5. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (5)
6. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (6)
7. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (7)
8. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (8)
9. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (9)
10. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (10)
11. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (11)
12. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (12)
13. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (13)
14. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (14)
15. 『イリアス』XVII 講読、ギリシア語歴史文法 (15)

6. 成績評価方法：

出席 (40%), 毎回の予習 (30%), 授業内容の理解度 (30%)

7. 教科書および参考書：

テキストはオックスフォード大学古典テキストのコピーを配布する。辞書は Liddel&Scott, Greek English Lexicon (Abridged Edition) を使用すること。[A copy of the text to read (Oxford Classical Texts) will be prepared by the instructor. It is recommended to use Liddel&Scott's Greek English Lexicon (Abridged

8. 授業時間外学習：

毎回10～15行の予習が必要となる。復習を行い、授業で得た知識を使えるようになることを心がけること。[Participants are required to translate 11-15 lines of the text in advance, and expected to review knowledge learned in classes and to apply it.]

9. その他：なし参加者は古典ギリシア語初級の知識を有すること。前期と合わせて受講することが推奨される。

[Participants are expected to have basic understanding of classical Greek. It is recommended to take this class along with the course "Seminar on Homer's Iliad" in summer semester.]

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB45304, 科目ナンバリング：LHM-0FL201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

古典ギリシア語文法初級

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Grammar of classical Greek

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、練習問題を解きながら文法や語彙の理解を深める。後期は動詞の法 (modi)、格の用法などの統語論も学ぶ。歴史文法の視点に立った解説も交えながら、音韻法則や活用の種類などの原理の理解に重点を置いた授業を目指す。基本的には教科書に沿って進めていくが、順序を変えることもある。重要な文法事項については資料を追加して解説する。

4. 学習の到達目標：

古典ギリシア語初級文法を習得し、平易なギリシア語の文章を訳せるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 条件文、約音名詞 (nomina contracta) の変化、アッティカ第 2 名詞変化、約音動詞 (verba contracta) の接続法
2. 予想的未来 (prospective) を表わす条件文、不定詞の作り方と用法、補語的不定詞 (accusativus cum infinitivo)
3. 第 3 変化名詞 (4)、関係代名詞
4. 希求法能動態と中受動態、第 3 変化形容詞 (1)
5. 可能的未来 (potential) を表わす条件文、第 3 変化名詞 (5)
6. 分詞の作り方と用法、第 3 変化名詞 (6)
7. 補語的分詞 (accusativus cum participio)、分詞の独立用法
8. 形容詞の比較、可能性 (potentialis) を表わす希求法、数詞、形容詞の比較の不規則変化
9. 普遍的又は反復的事態 (iterative) を表わす条件文、副詞および副詞の比較
10. 命令法能動態と中受動態、約音動詞 (verba contracta) の命令法、述語的分詞をとる動詞
11. 間接話法 (1) - (2)
12. 動詞的形容詞、間接話法 (3)、否定詞
13. 無幹母音型動詞 (mi 動詞) の変化 (語根型、重複型)
14. 無幹母音型動詞 (mi 動詞) の変化 (鼻音挿入型)
15. 統語論 (格の用法、文の種類)

6. 成績評価方法：

出席 60%、毎回の授業の課題達成度 40%

7. 教科書および参考書：

教科書 [textbook]

田中美知太郎、松平千秋『ギリシア語入門』改訂版 (岩波全書 1996 年、新装版 2012 年)

最初の授業で紹介するので、入手すること。

[Students are required to have the textbook, which will be introduced at the beginning of the course]

詳しい文法書 [recommended reference grammars]

英語: W. Goodwin: Greek G

8. 授業時間外学習：

指示された練習問題を解いておくこと。文法事項を丸暗記するのではなく、ギリシア語の仕組みを理解することが大事である。[Students are required to do assigned exercises in advance. It is important not to learn grammatical rules by heart but to understand the mechanism of Greek grammar.]

9. その他：なし前期と合わせて受講することが望ましい。

[It is recommended to take this class along with the course "Elementary Grammar of classical Greek" in winter semester.]

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：荻原 理（准教授）

講義コード：LB32306, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ラテン語原典講読

2. Course Title (授業題目)：

Advanced Latin

3. 授業の目的と概要：

語学上比較的やさしいラテン語の文章を、文法上の解説を受けながら、ゆっくり丁寧に読んでいきます（テキストの音読、語形変化の練習にも時間を取ります）。それを通じて、文法事項の確認をし、また、ラテン語に馴れていきます。（わからない点について積極的に質問してください。）

読むテキストは、参加者の希望・関心を訊きながら、教員が選定します。ジャンルの異なる複数のテキストを並行して読むことになるかもしれません。（参考までに、前年度にはカエサル『ガリア戦記』、デカルト『省察』のごく一部を読みました。前々年度にはルター「95 か条の提題」、カント「可感界と可知界の形式と諸原理」、ローマ法大全の「法学提要」のごく一部を、その前年度にはスピノザ『エチカ』、フォーテスキュー『イングランド法の礼賛について』のごく一部を、さらにその前年度にはデカルト『省察』、「カルミナ・ブラーナ」、オウィディウス『変身物語』、トマス・アキナス『神学大全』のごく一部を読みました。）

4. 学習の到達目標：

授業中読んだ文章については、ラテン語を読みながら文章の意味を捉えられるようになり、また、各語についても構文についても、文法的に説明できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

初回はイントロ。以降、テキストを丁寧に読んでいく。

最初の数回分のテキスト（テキスト 1）は教員が選ぶが、参加者の関心に応じてさらにテキストを選定していく（テキスト 2 以降）。

第 1 回：イントロ

第 2 回：テキスト 1 数行 たとえば 1-3 行であろうか

第 3 回：テキスト 1 次の数行 たとえば 4 行-7 行途中でもであろうか

第 4 回：テキスト 1 その次の数行 たとえば 7 行途中-11 行でもであろうか

第 5 回：テキスト 1 さらにその次の数行 たとえば 11 行-18 行でもであろうか

第 6 回：テキスト 1 18-21 行 ならびに テキスト 2 1-3 行 でもであろうか

第 7 回：テキスト 1 22 行-27 行 ならびに テキスト 2 4-6 行 でもであろうか

第 8 回：テキスト 2 7-15 行 でもであろうか

第 9 回：テキスト 2 16-23 行 でもであろうか

第 10 回：テキスト 2 24-27 行 ならびに テキスト 3 1-4 行 でもであろうか

第 11 回：テキスト 2 28-32 行 ならびに テキスト 3 5-11 行 でもであろうか

第 12 回：テキスト 2 33-36 行 ならびに テキスト 3 12-17 行 でもであろうか

第 13 回：テキスト 3 18-21 行 ならびに テキスト 4 1-4 行 でもであろうか

第 14 回：テキスト 3 22-27 行 ならびに テキスト 4 5-10 行 でもであろうか

第 15 回：テキスト 4 11-22 行 でもであろうか

6. 成績評価方法：

出席：60% 授業時のパフォーマンス：40%

（試験は行わず、レポート提出もありません。）

7. 教科書および参考書：

松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』（南江堂、1968 年初版、改訂 1979 年）を各自入手し、授業に持参して下さい。読むテキストはプリントを配布します。

8. 授業時間外学習：

復習（とくに、意味を捉えながらの音読）。次回読む予定の箇所の下調べ（できる範囲で）。

9. その他：なしラテン語初等文法を一通り学んでいることが参加の条件です（覚え残しが多少あっても構いません）。

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：宮崎 正美（非常勤講師）

講義コード：LB35306, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ラテン語文法入門・基礎文法

2. Course Title (授業題目)：

Introductory Course of Latin Grammar

3. 授業の目的と概要：

この授業では、受講生が、ラテン語の文法の全体像をつかんだ上で、文法の基礎的事項を習得することを目的とする。授業は、学ぶ上での重要な点や注意すべき点を指摘しながら解説する。

4. 学習の到達目標：

ラテン語文法理解の基礎となる事項（動詞・名詞・形容詞・代名詞その他）を修得し、どのような特徴をもった言語であるかを学ぶこと。

さらに格言など簡単なラテン語文章を読解できるようになることである。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業は講義を中心に進める。内容および進度予定は以下のとおりであるが、若干内容を変更する場合がある。

第1回 イン트로ダクション

第2回 アルファベット、発音、音節・アクセント規則

第3回 動詞の基礎（1） 人称語尾、4活用型とその判別法、sum 動詞

第4回 動詞の基礎（2） 現在幹、命令法

第5回 名詞の基礎（1） 性・数・格、5変化型とその判別法、第1変化

第6回 名詞の基礎（2） 第2変化、第3変化①i 幹

第7回 名詞の基礎（3） 第3変化②子音幹、前置詞（対格、奪格）

第8回 名詞の基礎（4） 属格の用法、与格の用法、第4変化、第5変化

第9回 形容詞（1） 性・数・格の一致、第1・第2変化型

第10回 形容詞（2） 第3変化型

第11回 形容詞（3） 比較級、最上級、副詞、数詞

第12回 代名詞（1） 代名詞の概観、人称代名詞・再帰代名詞、所有代名詞・形容詞

第13回 代名詞（2） 指示代名詞・形容詞①

第14回 代名詞（3） 指示代名詞・形容詞②、限定代名詞・形容詞、強意代名詞・形容詞

第15回 代名詞（4） 関係代名詞・形容詞、疑問代名詞・形容詞、その他の代名詞・形容詞

6. 成績評価方法：

出席日数が総授業数の 2/3 以上の学生が評価の対象になります。

出席状況（3分の2の出席を単位取得の最低条件とし、残り3分の1を全体の40%に換算）、レポート・試験（60%）、に基づいて評価する。（ただし比重は平均点、偏り、状況等により調整することがある。）

7. 教科書および参考書：

『羅和辞典（改訂版）』水谷智洋 研究社 2009年 ISBN: 9784767490250 参考書

『しっかり学ぶ初級ラテン語』 山下太郎 ベレ出版 2013年 ISBN: 9784860643669 参考書

8. 授業時間外学習：

指定したテキスト（プリント）の該当箇所を読んで、予習しておくこと。

テキストの練習問題を利用して、授業の内容を理解し、例文の文法解析をしておく

Students are required to prepare for the assigned part of the handouts. They also required to review each class using handouts and to analyze example sentences grammatical word by

9. その他：なしこの講義は日本語で提供されます。

辞書は参考書としているが、受講のためには必要と考えてほしい。

教科書としてプリントを配付する。

履修後続いてラテン語 II の履修が望まれる。

This course will be taught in Japanese. It is necessary for students to use a Latin dictionary in this class. No textbooks but references (handouts) are provided.

It is preferable to attend "Latin grammar II" sequentially to cover basic Latin grammar.

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：荻原 理（准教授）

講義コード：LB42306, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ラテン語原典講読

2. Course Title (授業題目)：

Advanced Latin

3. 授業の目的と概要：

語学上比較的やさしいラテン語の文章を、文法上の解説を受けながら、ゆっくり丁寧に読んでいきます（テキストの音読、語形変化の練習にも時間を取ります）。それを通じて、文法事項の確認をし、また、ラテン語に馴れていきます。（わからない点について積極的に質問してください。）

読むテキストは、参加者の希望・関心を訊きながら、教員が選定します。ジャンルの異なる複数のテキストを並行して読むことになるかもしれません。（参考までに、前年度にはカエサル『ガリア戦記』、デカルト『省察』のごく一部を読みました。前々年度にはルター「95 か条の提題」、カント「可感界と可知界の形式と諸原理」、ローマ法大全の「法学提要」のごく一部を、その前年度にはスピノザ『エチカ』、フォーテスキュー『イングランド法の礼賛について』のごく一部を、さらにその前年度にはデカルト『省察』、「カルミナ・ブラーナ」、オウィディウス『変身物語』、トマス・アキナス『神学大全』のごく一部を読みました。）

4. 学習の到達目標：

授業中読んだ文章については、ラテン語を読みながら文章の意味を捉えられるようになり、また、各語についても構文についても、文法的に説明できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

初回はイントロ。以降、テキストを丁寧に読んでいく。

最初の数回分のテキスト（テキスト 1）は教員が選ぶが、参加者の関心に応じてさらにテキストを選定していく（テキスト 2 以降）。

第 1 回：イントロ

第 2 回：テキスト 1 数行 たとえば 1-3 行であろうか

第 3 回：テキスト 1 次の数行 たとえば 4 行-7 行途中でもであろうか

第 4 回：テキスト 1 その次の数行 たとえば 7 行途中-11 行でもであろうか

第 5 回：テキスト 1 さらにその次の数行 たとえば 11 行-18 行でもであろうか

第 6 回：テキスト 1 18-21 行 ならびに テキスト 2 1-3 行 でもであろうか

第 7 回：テキスト 1 22 行-27 行 ならびに テキスト 2 4-6 行 でもであろうか

第 8 回：テキスト 2 7-15 行 でもであろうか

第 9 回：テキスト 2 16-23 行 でもであろうか

第 10 回：テキスト 2 24-27 行 ならびに テキスト 3 1-4 行 でもであろうか

第 11 回：テキスト 2 28-32 行 ならびに テキスト 3 5-11 行 でもであろうか

第 12 回：テキスト 2 33-36 行 ならびに テキスト 3 12-17 行 でもであろうか

第 13 回：テキスト 3 18-21 行 ならびに テキスト 4 1-4 行 でもであろうか

第 14 回：テキスト 3 22-27 行 ならびに テキスト 4 5-10 行 でもであろうか

第 15 回：テキスト 4 11-22 行 でもであろうか

6. 成績評価方法：

出席：60% 授業時のパフォーマンス：40%

（試験は行わず、レポート提出もありません。）

7. 教科書および参考書：

松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』（南江堂、1968 年初版、改訂 1979 年）を各自入手し、授業に持参して下さい。読むテキストはプリントを配布します。

8. 授業時間外学習：

復習（とくに、意味を捉えながらの音読）。次回読む予定の箇所の下調べ（できる範囲で）。

9. その他：なしラテン語初等文法を一通り学んでいることが参加の条件です（覚え残しが多少あっても構いません）。

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：宮崎 正美（非常勤講師）

講義コード：LB45305, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ラテン語文法および読解

2. Course Title (授業題目)：

Latin grammar and reading

3. 授業の目的と概要：

この授業では、受講生が、ラテン語の基礎的文法の仕上げと、総合的な読解力を身につけることを目的とする。12 世紀中世キリスト教の三位一体論や 3 世紀の文献を対象とし、古文書学やキリスト教に関する基本的知識をもとにして、読解する。それによって、学術的研究にラテン語の果たす役割の一端を実感できるであろう。

4. 学習の到達目標：

- (1) ラテン語動詞の多様な用法、文章構成を学ぶこと。
- (2) ラテン語原典にふれて読解力がつくようになること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第 1 回 イントロダクション動詞の態・時制・法の概略、現在幹を基にした不定法現在、命令法

第 2 回 動詞の「完了」「未完了」、動詞の時制の概観、未完了過去（直説法能動態）、未来（直説法能動態）、sum の未完了過去、未来

第 3 回 受動態人称語尾、形式受動態語尾（デポネンティア動詞）、命令法受動態

第 4 回 完了（直説法能動態）、完了幹、過去完了（直説法能動態）、未来完了（直説法能動態）

第 5 回 分詞（1） 分詞の種類と性格、性・数・格、現在分詞

第 6 回 分詞（2） 完了分詞、未来分詞、目的分詞

第 7 回 非人称動詞、不定法（現在、完了、未来）、動名詞

第 8 回 動形容詞、奪格別句

第 9 回 接続法（1） 接続法現在（能動態）、単文での用法、接続法の基本用法

第 10 回 接続法（2） 接続法現在（受動態）、接続法未完了過去（能動態・受動態）、接続法完了（能動態・受動態）、接続法過去完了（能動態・受動態）、

第 11 回 接続法（3） 時制の対応関係、間接話法（疑問文、命令文）、目的文

第 12 回 接続法（4） 程度文・結果文、条件文・譲歩文

第 13 回 原典講読①

第 14 回 原典講読②

第 15 回 原典講読③

6. 成績評価方法：

出席日数が総授業数の 2/3 以上の学生が評価の対象になります。

出席状況（3 分の 2 の出席を単位取得の最低条件とし、残り 3 分の 1 を全体の 40% に換算）、レポート・試験（60%）、に基づいて評価する。（ただし比重は 平均点、偏り、状況等により調整することがある。）

7. 教科書および参考書：

『羅和辞典（改訂版）』水谷智洋 研究社 2009 年 ISBN: 9784767490250 参考書

『しっかり学ぶ初級ラテン語』 山下太郎 ベレ出版 2013 年 ISBN: 9784860643669 参考書

8. 授業時間外学習：

指定したテキスト（プリント）の該当箇所を読んで、予習しておくこと。

テキストの練習問題を利用して、授業の内容を理解し、例文の文法解析をしておく

Students are required to prepare for the assigned part of the handouts. They also required to review each class using handouts and to analyze example sentences grammatical word by

9. その他：なしこの講義は日本語で提供されます。

辞書は参考書としているが、受講のためには必要と考えてほしい。

教科書としてプリントを配付する。

履修後続いてラテン語 II の履修が望まれる。

This course will be taught in Japanese. It is necessary for students to use a Latin dictionary in this class. No textbooks but references (handouts) are provided.

It is preferable to attend "Latin grammar II" sequentially to cover basic Latin grammar.

科目名：サンスクリット語／ Sanskrit

曜日・講時：前期 木曜日 3講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB34303, 科目ナンバリング：LHM-OFL203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

サンスクリット語基礎演習(1)

2. Course Title (授業題目)：

Sanskrit (Introductory Seminar 1)

3. 授業の目的と概要：

ランマンのサンスクリット読本をテキストとして読解演習を行い、サンスクリット語の文法・語彙についての理解を深める。
テキストの充実した語彙集・注記を活かして、できるだけ多く読みすすめていきたい。
ホイットニーの文法書を適宜参照する。

4. 学習の到達目標：

平易なサンスクリット語の文章を訳せるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 イントロダクション
- 2 ナラ王物語第1章（ナラ王とダマヤンティーの生い立ち）1-3
- 3 ナラ王物語第1章 4-6
- 4 ナラ王物語第1章 7-10
- 5 ナラ王物語第1章 11-14
- 6 ナラ王物語第1章 15-19
- 7 ナラ王物語第1章 20-22, ナラ王物語第2章 1-2（婿選びのお触れ）
- 8 ナラ王物語第2章 3-7
- 9 ナラ王物語第2章 8-13
- 10 ナラ王物語第2章 14-19
- 11 ナラ王物語第2章 20-25
- 12 ナラ王物語第2章 26-30, ナラ王物語第3章（ナラ王とダマヤンティーの対話）1-2
- 13 ナラ王物語第3章 3-10
- 14 ナラ王物語第3章 11-18
- 15 ナラ王物語第3章 19-25

6. 成績評価方法：

予習（40%），授業内容の理解度（60%）

7. 教科書および参考書：

C. R. Lanman, A Sanskrit Reader, W.D. Whitney, Sanskrit Grammar

8. 授業時間外学習：

一つ一つの語形を確定し、指定された部分を訳しておくこと。毎回の授業の復習に十分に時間をかけること。

9. その他：なしサンスクリット初級の知識を有すること。4セメスターのサンスクリット語・サンスクリット語基礎演習（2）と合わせて受講するのが望ましい。

科目名：サンスクリット語／ Sanskrit

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：尾園 絢一（非常勤講師）

講義コード：LB44303, 科目ナンバリング：LHM-OFL203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

サンスクリット語基礎演習(2)

2. Course Title (授業題目)：

Sanskrit (Introductory Seminar 2)

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、ランマンのサンスクリット読本をテキストとして読解演習を行い、サンスクリット語の文法・語彙についての理解を深める。テキストの充実した語彙集・注記を活かして、できるだけ多く読みすすめていきたい。ホイットニーの文法書を適宜参照する。

4. 学習の到達目標：

平易なサンスクリット語の文章を訳せるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 イントロダクション
- 2 ナラ王物語第4章（ナラ王とダマヤンティーの会話）1－7
- 3 ナラ王物語第4章 8－15
- 4 ナラ王物語第4章 16－23
- 5 ナラ王物語第4章 24－31
- 6 ナラ王物語第5章（婿選びの儀式）1－9
- 7 ナラ王物語第5章 10－18
- 8 ナラ王物語第5章 19－27
- 9 ナラ王物語第5章 V 28－36
- 10 ナラ王物語第5章 V 37－46
- 11 ヒトバデーシャ「有益な教え」、イントロダクション、プロローグ1
- 12 プロローグ2
- 13 プロローグ2
- 14 第1巻寓話2「老いた虎と旅人」
- 15 第1巻寓話2「老いた虎と旅人」

6. 成績評価方法：

予習（40%）、授業内容の理解度（60%）

7. 教科書および参考書：

C. R. Lanman, A Sanskrit Reader, W.D. Whitney, Sanskrit Grammar

8. 授業時間外学習：

一つ一つの語形を確定し、指定された部分を訳しておくこと。毎回の授業の復習に十分に時間をかけること。

9. その他：なしサンスクリット初級の知識を有すること。3セメスターのサンスクリット語・サンスクリット語基礎演習（1）と合わせて受講するのが望ましい。

科目名：中国語／ Chinese

曜日・講時：前期 月曜日 3 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LB31301, 科目ナンバリング：LHM-CHN201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中級会話

2. Course Title (授業題目)：

Chinses conversation

3. 授業の目的と概要：

毎週一つ的话题を決めて、早めに予習する上にそれをめぐって自由に話す。

4. 学習の到達目標：

日常会話及び学問に関する簡単な会話の能力を養成する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 自己紹介

第2回 同上

第3回 家族

第4回 同上

第5回 友人

第6回 同上

第7回 趣味

第8回 同上

第9回 映画

第10回 同上

第11回 旅行

第12回 同上

第13回 運動

第14回 同上

第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

会話試験（50％） 出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：中国語／ Chinese

曜日・講時：後期 月曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LB41302, 科目ナンバリング：LHM-CHN201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中級会話

2. Course Title (授業題目)：

Chinses conversation

3. 授業の目的と概要：

毎週一つ的话题を決めて、早めに予習する上にそれをめぐって自由に話す。

4. 学習の到達目標：

日常会話及び学問に関する簡単な会話の能力を養成する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 自己紹介

第2回 同上

第3回 夏休み

第4回 同上

第5回 大学

第6回 同上

第7回 授業

第8回 同上

第9回 読書

第10回 同上

第11回 漢詩

第12回 同上

第13回 食文化

第14回 同上

第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

会話試験（50％） 出席（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：朝鮮語／ Korean

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：権 来順（非常勤講師）

講義コード：LB33207, 科目ナンバリング：LHM-KOR201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

韓国語入門

2. Course Title (授業題目)：

Korean for Beginners

3. 授業の目的と概要：

韓国語（ハングル）に関する全体像を身につけ、韓国語の読み書きができることをめざす。

4. 学習の到達目標：

学習の入り口としてハングル文字の仕組みを理解し、韓国語への興味を持たせることを目的とする。特に日本語にない発音に重点を置き、正確な韓国語の発音を練習する。韓国の文化、風習などの視聴覚資料を使い、基本文法と会話を学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 イントロダクション：朝鮮半島の言語について
- 2 基本母音（単母音）と基本子音の学習
- 3 子音の激音・濃音、合成母音 11 文字の練習
- 4 一つ文字の終音、連音化、有声音化、流音化の学習
- 5 二つ文字の終音、激音化、濃音化、鼻音化の学習
- 6 日本語のハングル文字表記の練習
- 7 自己紹介の練習
- 8 断定の丁寧表現
- 9 動詞の丁寧表現と疑問形の表現
- 10 指示代名詞と所有の表現
- 11 位置関係の表現
- 12 漢字語数詞、日付、曜日などの表現
- 13 動詞の否定形
- 14 形容詞の丁寧表現
- 15 まとめと試験

6. 成績評価方法：

筆記試験、出席率、授業時の読み、書きなどの平常点

7. 教科書および参考書：

権来順 他『パルン韓国語』（朝日出版社）、参考資料のプリント配布

8. 授業時間外学習：

毎回の内容を復習すること

9. その他：なし

科目名：朝鮮語／ Korean

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：権 来順（非常勤講師）

講義コード：LB43206, 科目ナンバリング：LHM-KOR201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

韓国語初級

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Korean

3. 授業の目的と概要：

韓国語の読解力と簡単な生活会話をめざす。

4. 学習の到達目標：

日常生活に必要な語彙や表現力を高め、コミュニケーション能力を養う。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 イントロダクション
- 2 現在形の用言活用 Ⅰ（規則活用）
- 3 現在形の用言活用 Ⅱ（規則活用）
- 4 現在形の用言活用（変則活用）
- 5 固有語数詞、時間、買い物、値段などの表現
- 6 過去形の用言活用 Ⅰ（規則活用）
- 7 過去形の用言活用 Ⅱ（規則活用）
- 8 過去形の用言活用（変則活用）
- 9 願望を表す表現
- 10 意志を表す表現
- 11 目的を表す表現
- 12 敬語表現
- 13 非敬語表現
- 14 意向・意見・勧誘の表現
- 15 まとめと試験

6. 成績評価方法：

筆記試験、出席率、授業時の読み、書きなどの平常点

7. 教科書および参考書：

権来順 他『パルン韓国語』（朝日出版社）、参考資料のプリント配布

8. 授業時間外学習：

毎回の内容を復習すること

9. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB33408, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語上級（前期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Advanced Level)

3. 授業の目的と概要：

この講義では、文法は学生の学習が不完全な部分を補う程度にとどめる。読解や場合によっては翻訳も行なえるように、日常的事物と本で使われるような複雑な筋からなる文章の理解に向けた、イタリア語の高度な運用を目指す。

4. 学習の到達目標：

これまで学んできたイタリア語文法を用いて、さらに高度な読解、翻訳、会話、聞き取りの能力を伸ばし、イタリア文化に関しても学んでいく。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 復習。
2. 会話と読解の練習。
3. 小テストと直接法未来形。
4. Gerundio と進行動詞。
5. 会話と読解の練習。
6. 会話と聞き取りの練習。
7. 読解の練習と小テスト。
8. 直接法近過去と反過去その一。
9. 会話と読解の練習。
10. 直接法近過去と反過去その二。
11. 会話と読解の練習。
12. 人称代名詞。
13. 会話と読解の練習。
14. 聞き取り練習とテストの準備。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

会話・作文・翻訳・要約・聞き取りなどを通じて主に講義中に行なう。学期末に学習事項の確認テストを行なう。

7. 教科書および参考書：

講義中にプリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：前期 木曜日 3講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB34304, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語初級（前期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Elementary Level)

3. 授業の目的と概要：

日常生活で使用される対話表現を題材に、イタリア語特有の発音・リズムや言い回しを身につけ、名詞の性と数、形容詞の変化、定冠詞と不定冠詞、所有形容詞、指示詞、直接法現在の規則動詞といった基礎文法の規則を習得する。同時に習得した文法知識を用いて初歩的な疑問文や否定文をつくり、会話表現の練習を行なう。

4. 学習の到達目標：

実用イタリア語のための初歩的な文法を習得する。主語・述語・補語にもとづく平易な文章を理解し、簡単な日常会話や挨拶の表現ができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. コースの紹介。
2. 発音とアルファベット。
3. 定冠詞・不定冠詞・名詞。
4. 形容詞と挨拶。
5. Essere 不規則動詞の直接法現在形。
6. Avere 不規則動詞の直接法現在形。
7. -are 規則動詞の直接法現在形。
8. 丁寧な表現。
9. 数字と聞き取り練習。
10. 小テストと-ere の規則動詞の直接法現在形。
11. Fare 不規則動詞の直接法現在形と命令形。
12. 復習と聞き取り練習。
13. 疑問詞。
14. 小テストと復習。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。

7. 教科書および参考書：

朝日出版「Opera Prima Vol.1」。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし辞書を必ず用意すること。詳細については授業初回に指示する。

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB34401, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語中級（前期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Intermediate Level)

3. 授業の目的と概要：

これまでに学習した初級文法を復習しながら、引き続き実用イタリア語のための基礎文法を身につける。日常生活の様々な場面に対応する会話表現や文章例を題材に、命令法、半過去形、未来形、比較級と最上級などの中級文法の規則を習得する。同時に、文法知識を用いた実践的な会話練習を行ないながら、イタリア語文章の読解力・翻訳能力・作文能力を養う。

4. 学習の到達目標：

実用イタリア語のための基礎文法を習得し、異なる話法や動詞の時制をはじめとする、より複雑なイタリア語の文章を理解し、明確かつ発展的に表現することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 復習。
2. Dov'è? C'è? の使い方。
3. Quanto costa? と会話の練習。
4. Potere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
5. Venire 不規則動詞の直接法現在形。
6. 読解の練習と復習。
7. 小テストと Stare 不規則動詞の直接法現在形。
8. 聞き取り練習と非人称動詞。
9. Volere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
10. 直接法近過去その一。
11. 直接法近過去その二。
12. 小テストと会話の練習。
13. 直接法近過去その三。
14. 代名詞と会話の練習。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。

7. 教科書および参考書：

朝日出版「Opera Prima Vol.2」。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし辞書を必ず用意すること。

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB43408, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語上級（後期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Advanced Level)

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、様々なテキストの読解、翻訳を行ない、日常的な会話表現、聞き取りに関してもさらに練習を行なっていく。イタリア文化についてのトピックをとりあげ、それに関する語彙、知識を深め、イタリア語の高度な運用を目指す。

4. 学習の到達目標：

これまで学んできたイタリア語文法を用いて、さらに高度な読解、翻訳、会話、聞き取りの能力を伸ばし、イタリア文化に関しても学んでいく。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 復習。
2. 会話と読解の練習。
3. 接続法現在形。
4. 会話と読解の練習。
5. 聞き取り練習と復習。
6. 会話と読解の練習。
7. 条件法と接続法。
8. 会話と読解の練習。
9. 聞き取り練習と復習。
10. 直接法の遠過去と大過去。
11. 会話と読解の練習。
12. 聞き取り練習と復習。
13. 復習。
14. テストの準備。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

会話・作文・翻訳・要約・聞き取りなどを通じて主に講義中に行なう。学期末に学習事項の確認テストを行なう。

7. 教科書および参考書：

講義中にプリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 木曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB44304, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語初級（後期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Elementary Level)

3. 授業の目的と概要：

前期セメスターに引き続き、日常生活で使用される会話表現を題材に、不規則動詞、助動詞、再帰動詞、過去形といった基礎的文法の規則を習得する。同時に習得した文法知識を用いて、会話表現、作文の練習を行なう。

4. 学習の到達目標：

実用イタリア語のための初歩的な文法を習得する。主語・述語・補語にもとづく平易な文章を理解し、簡単な日常会話の表現ができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 復習。
2. -ere 規則動詞の直接法現在形。
3. Bere 不規則動詞の直接法現在形と読解の練習。
4. Andare 不規則動詞の直接法現在形。
5. C'è と ci sono。
6. 聞き取り練習と復習。
7. 小テストと時刻。
8. -ire 規則動詞の直接法現在形その一。
9. 会話の練習と-ire 規則動詞の直接法現在形その二。
10. Mi piace の使い方。
11. Uscire 不規則動詞の直接法現在形と人称代名詞。
12. 再帰動詞。
13. Dovere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
14. 小テストと復習。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。

7. 教科書および参考書：

朝日出版「Opera Prima Vol.1」。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし辞書を必ず用意すること。

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 木曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB44401, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

イタリア語中級（後期）

2. Course Title (授業題目)：

Italian Language (Intermediate Level)

3. 授業の目的と概要：

前期セメスターに引き続き、日常生活の様々な場面に対応する会話表現や文章例を題材に、関係代名詞、受動態、条件法、接続法などの中級文法の規則を一通り習得する。同時に、文法知識を用いた実践的な会話練習を行ないながら、イタリア語文章の読解力・翻訳能力・作文能力をさらに発展させる。

4. 学習の到達目標：

実用イタリア語のための基礎文法を習得し、異なる話法や動詞の時制をはじめとする、より複雑なイタリア語の文章を理解し、明確かつ発展的に表現することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 復習。
2. 不規則動詞の直接法近過去。
3. 聞き取りと会話の練習。
4. 読解の練習と相対最上級。
5. 小テストと代名詞。
6. 疑問詞。
7. 会話の練習と序数詞。
8. 部分補語。
9. 聞き取りと会話の練習。
10. 読解の練習と小テスト。
11. 人称代名詞。
12. 会話の練習。
13. 絶対最上級。
14. 会話の練習。
15. 期末テストとまとめ。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。

7. 教科書および参考書：

朝日出版「Opera Prima Vol.2」。

8. 授業時間外学習：

授業の復習と宿題を行なう。

9. その他：なし辞書を必ず用意すること。

科目名：専門中国語／ Advanced Chinese

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LB35403, 科目ナンバリング：LHM-CHN202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国語作文

2. Course Title (授業題目)：

Chinese writing

3. 授業の目的と概要：

基本文型の翻訳練習と自由テーマによる作文練習を通じて、中国語の作文の能力を高める。翻訳練習は授業の時にやり、自由作文は宿題として毎週一篇提出してほしいこと。

4. 学習の到達目標：

一つの出来事のあらすじを簡単な言葉ではっきりと述べ、また、自分の考え、気持ちをただしく表すことを目標とする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 “是” 動詞の翻訳練習
- 第2回 “有” 動詞の翻訳練習
- 第3回 “在” 動詞の翻訳練習
- 第4回 自由作文の講評
- 第5回 形容詞述語文の翻訳練習
- 第6回 同上
- 第7回 同上
- 第8回 自由作文の講評
- 第9回 動詞述語文の翻訳練習
- 第10回 同上
- 第11回 同上
- 第12回 自由作文の講評
- 第13回 名詞述語文の翻訳練習
- 第14回 同上
- 第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

出席（50％） 作文試験（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：専門中国語／ Advanced Chinese

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：馬 曉地（准教授）

講義コード：LB45405, 科目ナンバリング：LHM-CHN202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国語作文

2. Course Title (授業題目)：

Chinese writing

3. 授業の目的と概要：

基本文型の翻訳練習と自由テーマによる作文練習を通じて、中国語の作文の能力を高める。翻訳練習は授業の時にやり、自由作文は宿題として毎週一篇提出してほしいこと。

4. 学習の到達目標：

一つの出来事のあらすじを簡単な言葉ではっきりと述べ、また、自分の考え、気持ちをただしく表すことを目標とする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 疑問文の翻訳練習

第2回 同上

第3回 同上

第4回 自由作文の講評

第5回 助詞の翻訳練習

第6回 同上

第7回 同上

第8回 自由作文の講評

第9回 複雑句の翻訳練習

第10回 同上

第11回 同上

第12回 自由作文の講評

第13回 複雑句の翻訳練習

第14回 同上

第15回 まとめと試験

6. 成績評価方法：

出席（50％） 作文試験（50％）

7. 教科書および参考書：

プリント配布

8. 授業時間外学習：

予習と復習を重視する。

9. その他：なし

科目名：専門ドイツ語／ Advanced German

曜日・講時：後期 月曜日 2 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：松崎 裕人（非常勤講師）

講義コード：LB41203, 科目ナンバリング：LHM-GER201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ドイツ語読解力の養成とドイツ語基礎の徹底

2. Course Title (授業題目)：

Deutsch besser lesen und verstehen

3. 授業の目的と概要：

「神話と文学」にかんする理論的入門書を読みながら、ドイツ語文読解力の養成をはかる。
併せて、補助教材や資料の使用法に習熟する。
その作業を通して、ドイツ語基礎を確かなものとする。

4. 学習の到達目標：

中級ドイツ語の文献を読解することができる。
特殊辞典・事典を効果的に使うことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 講読 (1) およびビューヒャクンデについて (1)
- 3 講読 (2) およびビューヒャクンデについて (2)
- 4 講読 (3)
- 5 講読 (4) および独独辞典の活用 (1)
- 6 講読 (5) および独独辞典の活用 (2)
- 7 講読 (6)
- 8 講読 (7) とまとめ (1)
- 9 講読 (8) および事典の活用 (1)
- 10 講読 (9) および事典の活用 (2)
- 11 講読 (10)
- 12 講読 (11) およびランデスクンデについて (1)
- 13 講読 (12) およびランデスクンデについて (2)
- 14 講読 (13)
- 15 試験とまとめ (2)

6. 成績評価方法：

試験 (60%)、小テスト (20%)、授業での発表 (20%)

7. 教科書および参考書：

テキスト：

Robert A. Segal 『Mythos. Eine kleine Einführung』(Reclam UB, 2007)

5. Kap.: Mythos und Literatur (プリント配布)

それ以外のテキストや参考文献については開講時に紹介します。

8. 授業時間外学習：

毎回、テキスト1頁半ほどの十分な準備が必要です。その段階で不明な箇所を洗い出し、それを授業時に確認し、復習によって確かなものとしてください。

9. その他：なしオフィスアワー等については開講時に案内します。

科目名：専門フランス語／ Advanced French

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：阿部 宏（教授）

講義コード：LB33304, **科目ナンバリング：**LHM-FRE201J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス語を話す・フランス語を聞く

2. Course Title (授業題目)：

Parler le français, écouter le français

3. 授業の目的と概要：

フランス語による自己紹介, 大学紹介, 日本文化の解説, 電車の切符の購入やホテルの予約の仕方, 電話やメールでの表現, 店で買い物をする時の表現, などフランス語を話す練習, またフランスのニュース, 文学作品の朗読, シャンソンの歌詞, などのフランス語を聞く練習を中心に行います. 同時に, 綴りの読み方, 発音, 文法, リエゾンなど基礎フランス語の間違いやすいポイントを復習しながら, 辞書の活用法, 中級フランス語文法を学習していきます.

4. 学習の到達目標：

- ・フランス語で基本的な自己表現ができるようになる.
- ・フランス語の聞き取りの練習法がわかるようになる.
- ・フランス語の中級文法がわかるようになる.
- ・仏々辞典, 仏英辞典, 文法事典の有効な使い方がわかる..

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 辞典, 文法事典, 参考書の紹介
3. 自己紹介 (1)
4. 自己紹介 (2)
5. 大学紹介・ニュース聞き取り (1)
6. 大学紹介・ニュース聞き取り (2)
7. 日本紹介・ディクテ練習 (1)
8. 日本紹介・ディクテ練習 (2)
9. 買い物・朗読聞き取り (1)
10. 買い物・朗読聞き取り (2)
11. 切符購入・シャンソン聞き取り (1)
12. 切符購入・シャンソン聞き取り (2)
13. 電話
14. メール
15. まとめと試験

6. 成績評価方法：

平常点 50%. 試験 50%

7. 教科書および参考書：

プリント使用. 参考書については, 教室で現物をお見せして, 適宜推薦します.

8. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので, 関連資料を調査し, 各自考えていただきます

9. その他：なし

科目名：専門フランス語／ Advanced French

曜日・講時：後期 水曜日 5 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC (准教授)

講義コード：LB43504, 科目ナンバリング：LHM-FRE201J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

Expression française orale et écrite

2. Course Title (授業題目)：

Expression française orale et écrite

3. 授業の目的と概要：

Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra

- la lecture de divers types de textes
- l'audition de documents sonores
- une analyse de documents visuels
- des discussions sur des sujets de société
- des jeux de rôles

4. 学習の到達目標：

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra

- d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
- d'augmenter les capacités d'argumentation
- d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en Fr

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. Expression orale et écrite
2. Expression orale et écrite
3. Expression orale et écrite
4. Expression orale et écrite
5. Expression orale et écrite
6. Expression orale et écrite
7. Expression orale et écrite
8. Expression orale et écrite
9. Expression orale et écrite
10. Expression orale et écrite
11. Expression orale et écrite
12. Expression orale et écrite
13. Expression orale et écrite
14. Expression orale et écrite
15. Expression orale et écrite
16. Projection de film. Analyse et discussion.

6. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. La participation à l'oral compte pour 50%. L'évaluation sera aussi écrite (rédaction de plusieurs textes brefs).

7. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.

8. 授業時間外学習：

Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

9. その他：なし

科目名：漢文講読／ Chinese Classics (Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：菅原 尚樹 (非常勤講師)

講義コード：LB35307, **科目ナンバリング：**LHM-LIT226J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

漢文訓読入門 (文法編)

2. Course Title (授業題目)：

An introduction to reading classical Chinese texts in Japanese (1)

3. 授業の目的と概要：

この授業では漢文の文法事項を扱う。文法の面から漢文の読解力を向上させることを目的とする。

4. 学習の到達目標：

受講生は本講を通じて、教育現場や専門分野に応用しうる漢文訓読の基礎知識を習得できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

文法事項の解説とテキストの読解を行う。授業の前半には個別の文法事項について解説し、後半には出席者とともにテキストの書き下し文と日本語訳を作り、当否を検討する。

【進度予定】

第1講 訓点と文型

第2講 再読文字

第3講 使役形

第4講 受身形

第5講 否定形 (1)

第6講 否定形 (2)

第7講 否定形 (3)

第8講 中間試験と解説

第9講 疑問形 (1)

第10講 疑問形 (2)

第11講 反語形

第12講 比較形

第13講 限定形

第14講 累加形

第15講 期末試験と解説

6. 成績評価方法：

課題プリント (70%) 試験 (30%)

7. 教科書および参考書：

教材は授業中に配布する。

References are handed out at the beginning of the course.

8. 授業時間外学習：

授業中に配布する課題プリントを行う。

Students are required to submit class assignments.

9. その他：なしオフィスアワーは中国語学中国文学研究室 (619) で毎週金曜日 12:15~12:45 とする。

Office hours are from 12:15 to 12:45 on Fridays at the Laboratory of Chinese Language and Literature, Room619

科目名：漢文講読／ Chinese Classics (Reading)

曜日・講時：後期 金曜日 3講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：菅原 尚樹 (非常勤講師)

講義コード：LB45306, **科目ナンバリング：**LHM-LIT226J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

漢文訓読入門 (講読編)

2. Course Title (授業題目)：

An introduction to reading classical Chinese texts in Japanese (2)

3. 授業の目的と概要：

この授業では資料を講読し、漢文の読解力を向上させることを目的とする。

4. 学習の到達目標：

受講生は本講を通じて、教育現場や専門分野に応用しうる漢文訓読の基礎知識を習得できるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

テキストを読解する。具体的には、出席者とともにテキストの書き下し文と日本語訳を作り、可否を検討する。

【進度予定】

第1講 資料読解 (1)

第2講 資料読解 (2)

第3講 資料読解 (3)

第4講 資料読解 (4)

第5講 資料読解 (5)

第6講 資料読解 (6)

第7講 資料読解 (7)

第8講 中間試験と解説

第9講 資料読解 (8)

第10講 資料読解 (9)

第11講 資料読解 (10)

第12講 資料読解 (11)

第13講 資料読解 (12)

第14講 資料読解 (13)

第15講 期末試験と解説

6. 成績評価方法：

課題プリント (70%) 試験 (30%)

7. 教科書および参考書：

教材は授業中に配布する。

References are handed out at the beginning of the course.

8. 授業時間外学習：

授業中に配布する課題プリントを行う。

Students are required to submit class assignments.

9. その他：なしオフィスアワーは中国語学中国文学研究室 (619) で毎週金曜日 12:15~12:45 とする。

Office hours are from 12:15 to 12:45 on Fridays at the Laboratory of Chinese Language and Literature, Room619